

新発田市 令和8年度 第1回定例記者会見(概要)

- 1 日時 令和8年4月3日(金)午前10時～
- 2 場所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内容

【市長発表項目】

○新発田城 夜の特別公開と、新発田城の保全及び周辺整備等の寄附金の募集

夜間の新発田城特別公開イベントと、寄附金募集開始。

○蔵春閣で新発田フェア

当市のランドマーク、蔵春閣を活用した、ホテルオークラ新潟による料理イベントを開催。

○やってきました、アスパラシーズン！

20周年となる「食のアスパラ横丁、味めぐり」のオープニングイベントを開催。

○「ミニパンマルシェ with アスパラ横丁」開催！

「食のアスパラ横丁、味めぐり」の一環として開催する札の辻広場でのイベントを開催。

○「新発田台輪運行 300 周年」記念ロゴが完成

新発田台輪運行 300 周年を記念した事業の開始と、ふるさと納税による寄附を実施。

【その他】

- 第28弾マンホールカードに「ももクロマンホールカード」が採用決定
- 初夏の“カラダ整えキャンペーン”参加大募集
- 一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟強化指定選手新発田合宿
- 防災住宅リフォーム補助金を新設し、住宅リフォーム支援を拡充します
- 株式会社中西製作所様からの寄附金に係る感謝状贈呈式
- 「第22回食品団地 DE 春まつり」を開催します！
- ナゾトキアドベンチャーin 新発田市「霧隠れの街と導きの金魚」再演決定!!
- 新発田産大粒越後姫 姫のてまり 限定販売

市長あいさつ

- 新年度が始まりましたが、今年度もよろしく申し上げます。今日は春日和で良い天気です。私の好きな季節は、春と秋で、秋の透明感のあるピンとした冷たさのある風も好きなのですが、春のふわふわした柔らかな感じも心地よいと感じています。

- 私には、毎朝のルーティーンがあります。一つは鯉の餌やりです。我が家は鯉料理を提供して名をはせてきましたが、2月で鯉料理は終了します。そのままにしておくと池が汚れていくので対処のために鯉を飼っています。もう一つは、昨年からはじめた畑の水やりです。田んぼは1町歩ほど所有しており、若いころは水稻栽培をやっていました。その後、35、6歳くらいのときに田植え機やコンバインが流通し始め農業の機械化が進みましたが、ほんの1町歩くらいでは機械化を進められないと考え、そのころから全面的に委託するようになりました。若いときに田んぼの経験したことから、議会からの水稻関係の質問に職員の手を借りず答弁できるくらいにはなっています。

- 今、新潟県からは場整備に関して「2割は園芸をやってもらいたい、そうしないと補助は付けない」と言われています。「これまでコシヒカリに頼り切って胡坐をかいてきたのに、今さら何を言っている」と思いましたが、そのような指導ならやむを得ないと思っています。若いとき畑を起こすことはしましたが、実際に野菜栽培はやっていなかったため、畑の関係の質問をいただいても対応することはできません。やっぱり自分で経験しないものは答弁できないため、小さな畑ですが、昨年からは自分でやり始めました。

- 今年度も精いっぱいやりたいとおもっていますし、4期16年の最終年度でもありますので、しっかり努めてまいりたいと考えております。一年間、ご指導をいただくようお願いするとともにできるだけ新発田の記事を掲載していただきますようお願いいたします。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、「新発田城夜の特別公開」と、新発田城の保全のための寄附金の募集の開始についてです。

- 今年も恒例の「新発田の春まつり」を本日から新発田城址公園で開催しております。これにあわせ、「新発田城 夜の特別公開」を行います。
- 昨年、「ももクロ春の一大事」にあわせ、夜の新発田城を初めて公開したところ、大変好評をいただき大勢の皆様にお越しいただきましたことから、今年も夜の新発田城を特別に公開します。普段は見ることができない、夜の新発田城内にお越しいただき、昼とは違った幻想的な姿をお楽しみください。
- また、この度、市のシンボルであり、日本100名城でもあるこの新発田城を、後世に守り伝えていくため、新発田城の保全や周辺整備のための寄附金の募集を開始いたしました。
- 寄附は、2000円からで、広く市内外の個人や団体の方々に御協力いただけるよう、寄附金額に応じた特典を御用意いたしました。今回の寄附金限定デザインの4種類の御城印や、新発田城内に新設する御芳名板にお名前を掲載します。このほかにも、市内観光施設の優待券や観光ガイドの無料券などを御用意しております。
- 新発田城では、今後、土橋門の復元、旧二の丸隅櫓や表門の耐震・補修など、城を守り伝えるために多くの事業が予定されています。ぜひ、新発田城がこれからも多くの方々に親しまれ、地域の宝として受け継がれていくよう、皆様の温かい御協力をお待ちしております。

次に、蔵春閣で新発田フェアについてです。

- 当市のランドマークとなった蔵春閣は、大倉文化財団から新発田市に寄贈され、大倉喜八郎翁ゆかりの東公園に移築され、令和5年4月のオープンから3周年を迎えます。
- 喜八郎翁が御縁となって生まれた、ホテルオークラ新潟さんとのコラボレーション企画、「蔵春閣で新発田フェア」を今年も開催します。
- 会場となる1階の食堂は、豪華絢爛な調度品や明治時代の工芸技術の粋を集めた和洋折衷の建物となっており、装飾が和風、食卓が洋風といった独自のスタイルになっております。
- 非日常感があふれる空間で、新発田牛や越後姫など、新発田産の食材を中心とした、ホテルオークラ新潟総料理長による HALF コース料理を提供します。
- 在りし日には、大蔵喜八郎が渋沢栄一や海外からの賓客を招き、もてなしていたことを想像すると胸がわくわくします。窓から見える景色や蔵春閣の歴史に想いを馳せながら、ホテルオークラ新潟さんの料理を堪能していただきたいと思えます。

次に、やってきました、アスパラシーズン！についてです。

- 春本番を迎え、「太い！」「甘い！」「やわらかい！」の三拍子が揃った新発田産アスパラガスのシーズンがやってまいりました。「いちご^{いちえ}一会めぐり」で越後姫カラーだったまちが、鮮やかなアスパラカラーとなり、まちの賑わいを演出します。
- まずは、「食のアスパラ横丁、味めぐり」のオープニングイベントとしまして、道の駅加治川で4月25日（土）に、昨年も大好評の「アスパラ一本焼きの無料ふるまい」を実施します。
- 地域の皆さんと共に歩んできた「食のアスパラ横丁、味めぐり」もおかげさまで20周年となりました。これまでの感謝も込めて、アスパラ一本焼きのふるまいを昨年の150食から300食に倍増します。多くの方に新発田のアスパラガスを味わっていただき、アスパラ横丁のスタートダッシュを決めていきたいと考えております。
- 4月25日から5月にかけて実施する「食のアスパラ横丁、味めぐり」キャンペーンの詳細は、次回の記者会見で、参加店のアスパラメニューとともに皆さんに御案内いたします。
- あわせて、「ふとっパラ」と「ふとっパラプレミアム」の限定販売のお知らせです。50円玉ほどの太さの極上アスパラガス「ふとっパラ」、そして、500円玉ほどの太さの超極上アスパラガス「ふとっパラプレミアム」も限定販売されます。
- 天候等により収穫量が左右されるため、出会えたらラッキーと言われている、極上、超極上アスパラガスもぜひこの機会にお楽しみいただけたらと思います。

次に、「ミニパンマルシェ with アスパラ横丁」開催！についてです。

- 道の駅加治川でのイベントのほかに、中心市街地でも「アスパラ横丁」20周年記念イベントを開催します。
- ヨリネスしばた札の辻広場では「ミニパンマルシェ with アスパラ横丁」として、市内外からパン屋、スイーツ店、キッチンカーなどが、各店舗で工夫を凝らしたオリジナルアスパラパンを販売し、新発田産アスパラガスの魅力を広めます。
- また、2月に開催された「まちづくりドラフト会議 ^{フォー}for ^{ユース}youth」において、新発田商業高校の生徒さんから提案いただいた、アスパラガスの緑色をメインカラーとした服やアクセサリを身に着けてイベント会場に会場に来場する「アスパラガス ^{グリーン}Green ^{デー}Day」も実施します。
- アスパラガス Green Day への参加者には、アスパラくんグッズや、新発田商業高校の生徒が授業で ^{スリーディー}3Dプリンターを使用し、金魚台輪をモチーフにして制作した高校のマスコットキャラクター、「しばりん」のキーホルダーをプレゼントいたします。
- 更には、小さなお子さんでも楽しめる「子ども縁日」も同時開催いたしますので、親子で旬のアスパラガスを余すことなく堪能していただきたいと思います。

最後に「新発田台輪運行 300 周年」記念ロゴの完成についてです。

- 令和 8 年は、新発田の夏の風物詩「城下町新発田まつり」の華、「新発田台輪」の運行が始まってから 300 周年を迎えます。
- 当市最大の夏のイベントをさらに盛り上げるべく、300 周年を機に、新発田台輪を県内外、そして世界に発信するため、この度、記念のロゴマークを作成しました。
- 新発田台輪は、新発田藩 6 代目藩主 溝口直治なおはる侯が享保きょうほう11 年に、諏訪神社の祭礼を盛り上げるため「飾り人形の屋台を出すように」とのお触れを出したことが起源と言われています。ロゴマークは、溝口家の家紋を漢数字の「三」に見立て、台輪運行 300 周年をあしらったものといいたしました。
- ロゴマークは、今後、事業 PR に活用していくほか、市内事業者の皆様にも周知を図り、ロゴを使用した記念商品の開発や 300 周年記念グッズを作成してまいります。
- また、連綿と続く新発田台輪の歴史と伝統文化を絶やすことなく、次の 100 年、200 年と守り続け、次世代へ受け継いでくために、ふるさと納税を活用した寄附を募ることとしました。
- 既に「ふるさとチョイス」などのホームページで募集を開始しておりますが、頂いた寄附については、新発田台輪の修繕や若い担い手の育成や技術継承、そして、この度の周年事業に活用させていただきます。
- 新発田台輪は、城下町新発田の歴史、文化、そして地域を象徴する財産であり、市民の誇り、まさに「新発田の宝」であり

ます。300周年にちなんだイベント等も行う予定としております。詳細につきましては今後の記者会見を通じてお知らせいたしますので、御期待ください。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を御支援いただきますよう、よろしく願いいたします。